

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	胃癌腹膜播種に対する胃切除術の意義
	研究目的	胃癌で腹膜播種を手術時に認められた患者さんの術後長期成績を調査します。
	研究対象者	2000年1月から2015年12月までに当院で胃癌に対して手術を受けられた患者様
	研究期間	西暦 2019年3月20日～西暦 2020年12月31日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	消化器外科医長 林 勉
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	消化器外科(胃食道)
	共同研究の場合、共同 研究機関および各施設 での研究責任者	なし